

## 「平成20年度グローバルCOEプログラム委員会（第1回）」議事概要

1. 日 時：平成19年12月11日（火）13：30～15：30

2. 場 所：霞が関東京會館シルバースタールーム

3. 出席者：（委 員）安西委員、小野委員、勝木委員、金澤委員、木村委員、佐々木（雄）委員、鈴木（厚）委員、鈴木（基）委員、鈴木委員、田中（隆）委員、田中（英）委員、谷口委員、玉尾委員、田村委員、戸張委員、鳥居委員、中島委員、野依委員、福山委員、三木委員、村松委員  
（文部科学省）清水局長、久保審議官、中岡大学振興課長、井上大学改革推進室長  
（事務局）村田理事、井上監事、中原監事、宮嶋審議役、渡邊研究事業部長、鈴木研究事業課長、小野研究事業課次長

### 4. 議事概要

- ・議事に先立ち、審査・評価の実施主体である独立行政法人日本学術振興会の小野理事長より挨拶があった。
- ・事業の実施主体である文部科学省の清水高等教育局長より挨拶があった。
- ・平成20年度グローバルCOEプログラム委員会委員名簿〔資料1〕により委員が紹介された。

#### （1）委員長の選出等について

- ・互選により、野依委員が委員長に選出された。
- ・野依委員長より、副委員長には、安西委員が指名された。

#### （2）審議内容等の取扱いについて

- ・事務局より委員会の審議内容等の取扱いについて〔資料2〕に基づき説明があり、審査（人選を含む）に関する調査審議を除き、会議、会議資料について原則公開とする旨の説明があった。

#### （3）委員会の運営等について

- ・グローバルCOEプログラム委員会規程〔資料3-1〕、グローバルCOEプログラム委員会組織イメージ〔資料3-2〕、自己の関係する大学の事案に関する取扱いについて〔資料3-3〕について、事務局より説明があった。
- ・国公立私立大学を通じた大学教育改革の支援の充実等〔資料4〕について、井上大学改革推進室長より説明があった。
- ・平成20年度グローバルCOEプログラム審査スケジュール（案）〔資料5〕について、事務局より説明があり、了承された。

#### （4）公募・審査の在り方について

- ・平成20年度「グローバルCOEプログラム」の公募・審査に係る主な意見と対応（案）について、事務局より説明があり、続いて、井上大学改革推進室長から、平成20年度グローバルCOEプログラム公募要領（案）〔資料6〕について説明があり、更に、事務局より「グローバルCOEプログラム」審査要項（案）〔資料7〕、平成20年度「グローバルCOEプログラム」計画調書（案）〔資料8〕、「グローバルCOEプログラム」審査基準（案）〔資料9〕、「グローバルCOEプログラム」ヒアリング実施要領（案）〔資料10〕について説明があり、質疑応答が行われた。本日の意見を踏まえ、次回委員会において、審議・決定することとされた。主な意見は以下のとおり。

（主な意見）

- 採択件数が60拠点程度とされているが、分野によっては、予算規模の小さいものもあるので、採択件数を考慮することも必要なのではないか。

- 学際、複合、新領域分野は、昨年の申請件数が100件を超えたにも係わらず、結果として、他の分野とほぼ同じ採択件数となったが、申請件数なども考慮することも必要なのではないか。
- このプログラムについては、世界水準の教育研究拠点を重点的に支援するという趣旨から、申請件数を考慮することや、採択件数を増やすことは、昨年同様考慮せず、真に優れた拠点を採択するということがよいのではないか。ただし、本プログラムの予算そのものの充実に向けた努力は必要。
- 諸外国に比して、やや立ち遅れていると考えられている人文科学分野については、何か他の振興策も必要ではないか。
- 人材の流動性が高まっている中、事業推進担当が他の大学に移った場合等の申請のルールを整理しておくことが必要ではないか。
- 外国人レフェリー評価については、参考意見として、より活用できるよう依頼方法等の工夫が必要ではないか。

(5) その他

- ・グローバルCOEプログラム委員会専門委員の選考について [資料11-1]、平成20年度グローバルCOEプログラム委員会分野別審査・評価部会構成(案) [資料11-2]、グローバルCOEプログラムレフェリーの選考について [資料12] について、事務局より説明があり、質疑応答が行われ、了承された。[資料12] については、一部修正することとし、また、分野別審査・評価部会への分属委員等が委員長より行われた。
- ・次回の委員会を12月20日(木) 15時~17時に開催することとした。